

令和2年度活動報告

荻野慎諧

教育

行政

地域の維持・持続

特産品づくり

販路拡大

観光入り込み・県との事業

教育



2021年2月24日(水)

生き方に学ぶ2（2年生）！

2年生は総合的な学習の時間に、「生き方に学ぶ」の取り組みをしています。2月10日(水)に引き続き、2月24日(水)に第2弾を行いました。「小説家:峰守ひろかずさん」、「編集者:田中遼さん」、「ゲームクリエイター:村上雅彦さん」を講師に招いてオンラインでリレー講義をしていただきました。その後勝山市地域おこし協力隊の荻野慎諸先生をファシリテーターに迎えトークをしていただきました。生徒の皆さんは初めての試みに驚き、生き方をお聞きして感動していました。4名の講師の皆様、お忙しい中学生達のために時間を設けてくださり、本当にありがとうございました。



教育

2009.07.01.

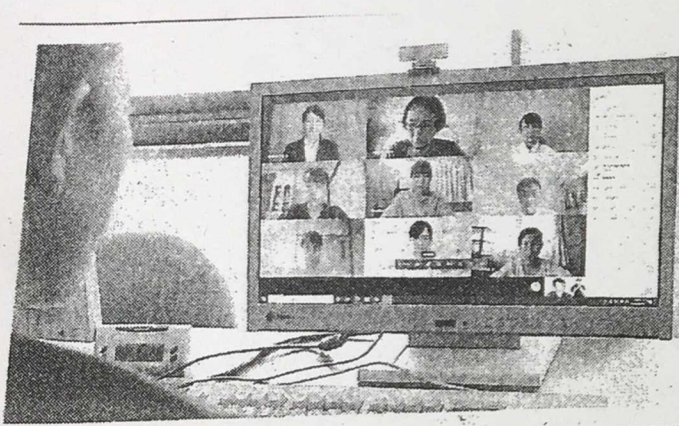
福井県勝山市と包括連携協定を締結

関西学院大学は6月30日、福井県勝山市と包括的連携協力協定を締結しました。杉原左

しました。
今回の協定は、2004年2月に本学ワンダーフォーゲル部員14人が勝山市内の大長山（かけ。その後、同部員たちが毎年夏休みに勝山市内で小学生を対象にした野外キャンプを事故から5年が経過し、互いの関係をさらに深めるため、正式に協定を結ぶことになりま
今後、勝山市内の平泉寺や恐竜遺跡の発掘調査に関学生がインターンシップとして参加
るなど、幅広い連携を進めてまいります。

調印式後の記者会見で、山岸市長は「勝山のまちづくりに関西学院大学の知力と知恵を
「創立120年の節目に素晴らしい機会を与您えいただき感謝している。垣根のない交流を

（桂知之）



福井県勝山市
12月30日
オンラインでインターン
参加。新型コロナウィルス
感染拡大防止のため職場体
験ではなく、オンラインで
意見交換などをしながら市
の課題解決を検討、企画
立案能力を高めるプログラ
ムに挑戦している。25日ま
で。

参加。新型コロナウィルス
感染拡大防止のため職場体
験ではなく、オンラインで
意見交換などをしながら市
の課題解決を検討、企画
立案能力を高めるプログラ
ムに挑戦している。25日ま
で。
初日はウェブ会議システ
ムを用い、市観光戦略アドバ
イザーの荻野慎諸さんが学
生ら＝18日、同市役所
勝山市の課題解決に向け、
オンラインで意見交換する
学生ら＝18日、同市役所

生たちに市の課題などを紹
介した。「観光面では、県
立恐竜博物館からほかの場
所へ周遊する人が少ない」
などの説明に、学生たちは
真剣に耳を傾けていた。
今後はそれぞれのテーマ
に基づき、インターネット
などで情報を集めて勝山市
とほかの自治体の比較検討
などを行う。その上で市の
課題解決を取りまとめ、
最終日に発表し合う。
参加した光根鈴香さん
（関西学院大3年）は「自
分が住んでいる兵庫県西宮
市と勝山市を比較し、スポ
ーツによる地域活性化策を
提案したい」と話した。

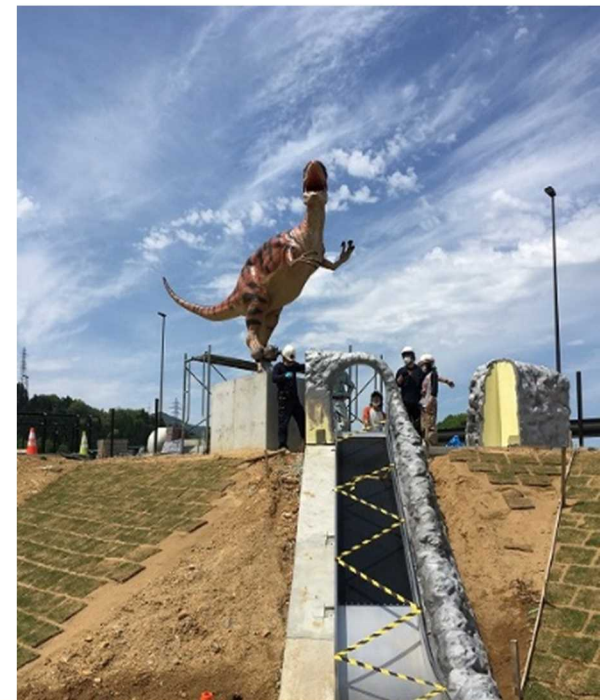
行政

商工観光ジオ 次項へ

未来創造 六次総合計画
インターンシップ受け入れ

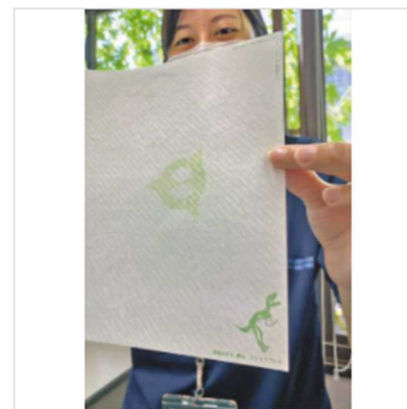
市民 住民票デザイン等

議会 ヒアリング



偽造防止に恐竜登場 勝山市、証明書にフクイラプトル全身骨格図

2020年8月26日 05時00分 (8月26日 05時00分更新) | 会員限定



偽造防止を目的に勝山市の各種証明書に使用されるフクイラプトルの全身骨格図 (右下) = 同市役所で

勝山市は、住民票や戸籍など各種証明書の偽造防止を目的に、見つかった「フクイラプトル」の全身骨格図入りの用紙を導入し、8月1日より発行する。

市民・税務課によると、市の各種証明書は偽造防止用紙を使用している。今年三月以降、デザインの変更はされておらず、今年(令和二年)の市制施行(八月一日)に合わせて変更することにした。これまで市章を入れていた証明書に、左上と右下に全身骨格図を入れる。複雑な全身骨格図を採用することで、さらに偽造しにくくなる上に、提出先に「恐竜のまち勝山」をアピールするメリットもあるという。

デザインは市地域おこし協力隊の荻野博哉さんが担当し、骨格図は勝山市立自然史博物館の担当者が作成した。

地域の維持・持続

野向町をどう維持・存続させていくか

野向公民館の事業委託化検討

特産品の追加，事業維持の検討

⇒ 市・県を代表するレベルの
「継続可能な地域」形成へ

野向の枝豆 新たな特産に 兵庫・丹波産作付け 勝山の団体

2020年10月16日 05時00分 (10月16日 09時49分更新)



「風の郷丹波本黒枝豆」の収穫体験参加を呼び掛ける吉川さん＝勝山市野向可能谷で



きっかけは昨年、市地域おこし協力隊員の紹介で丹波市の農家とつながったこと。野向の...
ないかと、吉川さんが農家を訪問して栽培方法などを学び、後日、種をもらった。

あすから収穫体験も

特産のエゴマ栽培に注力している勝山市野向地
ようとする活動を地元団体が始めた。兵庫県の丹
丹波本黒枝豆」と銘打ち、九日に初収穫。十七日
開き、関係者は「野向を豊かにできる作物にした
(平林靖博)

取り組むのはNPO法人まちづくりのむきの会
「のむき風の郷」出荷担当の吉川憲男さん（64
ら栽培を始めた。のむき風の郷の隣接地と吉川さ
十本、有志三人がそれぞれ二十～百本栽培してい
食べると甘みが残るのが特徴。

特産品づくり



恐竜博士の夢 グッズで応援 勝山の協力隊員・荻野さん

2020年7月14日 05時00分 (7月14日 09時37分更新)



恐竜博士に特化した学業成就のお札など製作した恐竜グッズをアピールする荻野さん＝13日、勝山市役所で

学業成就お札など製作

恐竜博士になる夢を応援します。勝山市の地域おこし協力隊員、荻野慎諧(しんかい)さんが、恐竜博士に特化した学業成就のお札など恐竜グッズ四点のおみやげを製作し、市内で販売している。売り上げの一部は、監修を受けた県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。(山内道朗)

お札は一枚千五百四十円(消費税込み)。越前和紙を使用し、「学業発展 恐竜・古生物学博士成就御加護」の文字と、フクイラプトルの全身骨格をデザインした朱印が押されている。勝山市内の神社で祈とうを受けている。



恐竜グッズ
今ならTシャツ
送料無料で登場

恐竜グッズ
オリジナル恐竜グッズ
恐竜博士の夢を応援する「恐竜博士」グッズを販売している。売り上げの一部は、県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。



恐竜グッズ
恐竜博士の夢を応援する「恐竜博士」グッズを販売している。売り上げの一部は、県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。

Guide
恐竜グッズ
恐竜博士の夢を応援する「恐竜博士」グッズを販売している。売り上げの一部は、県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。

この恐竜グッズは、勝山市の地域おこし協力隊員、荻野慎諧さんが、恐竜博士に特化した学業成就のお札など恐竜グッズ四点のおみやげを製作し、市内で販売している。売り上げの一部は、監修を受けた県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。

恐竜王国 勝山県勝山市の恐竜たち
勝山市から見つけている恐竜たちは、白垩紀前期 2000万年)の手取郡龍川谷層という地層から見つかる。恐竜が繁栄した時代の日本列島は、まだ大陸の一部。勝山市の北谷層からは、これまでに恐竜だけでなく、哺乳類や爬虫類、鳥類、魚類、植物などたくさんの化石が見つかる。実際は毎年行われていて、これからの発見が期待できます。



恐竜の骨格：冠飾の付いた
全長4.7メートルの
イワノドン科の獣脚類の骨格
です。他のイワノドン科のように、
冠飾の骨格がはみ出しています。



恐竜の骨格：冠飾の付いた
全長4.7メートルの
イワノドン科の獣脚類の骨格
です。他のイワノドン科のように、
冠飾の骨格がはみ出しています。



恐竜の骨格：冠飾の付いた
全長4.7メートルの
イワノドン科の獣脚類の骨格
です。他のイワノドン科のように、
冠飾の骨格がはみ出しています。

骨格制作・解説：荻野慎諧(おぎのしんかい)
勝山市の古生物学者(理学博士)、3D骨格復元作家、
妖怪研究家、化石を軸にさまざまな活動を行っている
科学の伝道師(恐竜(学研、読書執筆)、
恐竜古生物学者(読書評議社、監修)、
気象学関係団体ニッポン気象塾(学研プラス、月
古生物学者、妖怪を語る)04区出版新書、単著)など

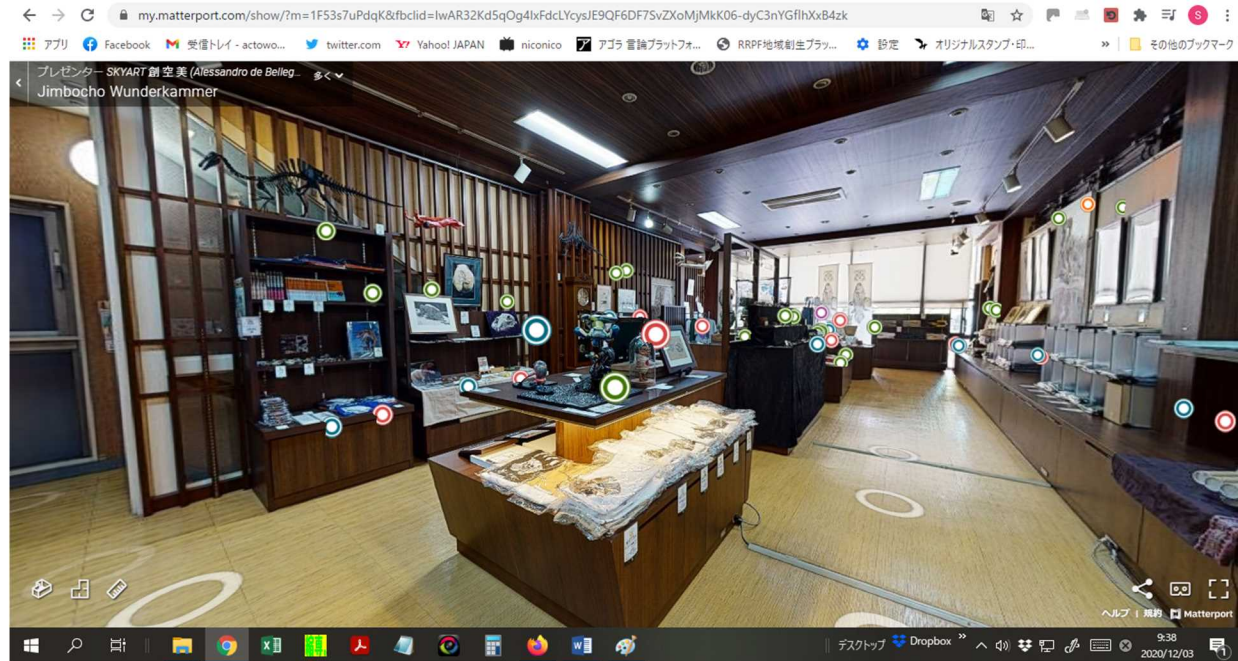
この恐竜グッズは、勝山市の地域おこし協力隊員、荻野慎諧さんが、恐竜博士に特化した学業成就のお札など恐竜グッズ四点のおみやげを製作し、市内で販売している。売り上げの一部は、監修を受けた県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらう。

販路拡大

イベント販売

ジオパーク・博物館等での
コネクションづくり

⇒ 目的は全国で行う夏の「恐竜展」



教育

行政

地域の維持・持続

特産品づくり

販路拡大

~~観光入り込み・県との事業~~

広報PR関係



連載
トランヴェール(JR東)
月刊ムー(学研プラス)

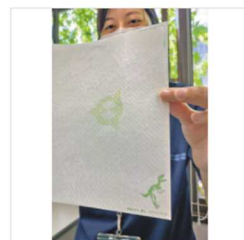
メディア出演
FBCラジオ 朝ワイド番組「よーいドン!!」

寄稿
ユリイカ(青土社)「鳥獣戯画を読む」

入試問題採用
山手学院(横浜市)

偽造防止に恐竜登場 勝山市、証明書にフクイラプトル全身骨格図

2020年8月26日 05時00分 (8月26日 05時00分更新) | 会員限定



偽造防止を目的に勝山市の各種証明書に使用されるフクイラプトルの全身骨格図(右下)＝同市役所で

勝山市は、住民票や戸籍など各種証明書の偽造防止を目的に、同市で化石が見つかった「フクイラプトル」の全身骨格図入り用紙を導入し、九月一日から発行する。

市民・税務課によると、市の各種証明書は偽造防止用紙を使い始めた二〇〇八年三月以降、デザインの変更はされておらず、今年の市制施行の日(九月一日)に合わせて変更することにした。これまで市章を入れていた横長の用紙に、左上と右下に全身骨格図を入れる。複雑な全身骨格図を採用することで、さらに偽造しにくくなる上に、提出先に「恐竜のまち勝山」をアピールできる利点もあるという。

デザインは市地域おこし協力隊の狩野慎譜さんが担当し、骨格図の下には「恐竜のまち 勝山 フクイラプトル」の文字も入れた。配色はこれまで通り、市の川々キイメージした緑色。

野向の枝豆 新たな特産に 兵庫・丹波産作付け 勝山の団体始動

2020年10月16日 05時00分 (10月16日 09時49分更新)



「風の郷丹波本黒枝豆」の収穫体験参加を呼び掛ける吉川さん＝勝山市野向町で

あすから収穫体験も

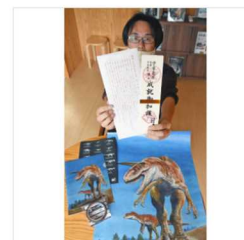
特産のエゴマ栽培に注力している勝山市野向地区で、新たに枝豆を売りしようとする活動を地元団体が始めた。兵庫県丹波黒大豆を作付けし「風の郷丹波本黒枝豆」と銘打ち、九日に初収穫。十七日からは現地の畑で収穫体験も開き、関係者は「野向を豊かにできる作物にしたい」と意気込んでいる。(平林靖博)

取り組むのはNPO法人まちづくりのむき会。地区内の農産物販売施設「のむき風の郷」出荷担当の吉川薫男さん(64)を中心に住民有志が今年から栽培を始めた。のむき風の郷の隣接地と吉川さんの畑で各三アールに三百五十本、有志三人がそれぞれ二十〜百本栽培している。丹波黒大豆の本黒種で、食べると甘みが残るのが特徴。

きっかけは昨年、市地域おこし協力隊員の紹介で丹波市の農家とつながったこと。野向の気候や土地に適した作物にできないかと、吉川さんが農家を訪問して栽培方法などを学び、後日、種をもらった。

恐竜博士の夢 グッズで応援 勝山の協力隊員・狩野さん

2020年7月14日 05時00分 (7月14日 09時37分更新)



恐竜博士に特化した学業成就のお札など制作した恐竜グッズをアピールする狩野さん＝13日、勝山市役所で

学業成就お札など製作

恐竜博士になる夢を応援します。勝山市の地域おこし協力隊員、狩野慎譜(しんかい)さんが、恐竜博士に特化した学業成就のお札など恐竜グッズ四点のおみやげを製作し、市内で販売している。売り上げの一部は、監修を受けた県立大恐竜学研究所に寄付し、研究活動に役立ててもらおう。(山内道朗)

お札は一枚千五百四十円(消費税込み)。越前和紙を使用し、「学業発展 恐竜・古生物学博士成就御加護」の文字と、フクイラプトルの全身骨格をデザインした朱印が押されている。勝山市内の神社で祈とうを受けている。



SNSインプレッション Twitter:396,860(4月~2月)

勝山市の伸びしろ

医療費の削減

住民主体の地域存続モデルづくり(全国でSDGsの先駆けに)

観光ピーク時昼食の取り込み(恐竜博と要相談)

勝山高校1年生数と市内の昼間16歳人口の推移と将来予測(概算)

